

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

<団体情報>

担当小委員会	第 34 小委員会
事務局	(一社) 日本照明工業会

注：青文字記載は、追補 1 として JIS C 8147-2-13:2017 に追加変更した内容を記載している。

<規格情報>

規格番号 (発行年)	JIS C 8147-2-13 : 2017+ 追補 1 (2024)
対応国際規格番号 (版)	IEC 61347-2-13 : 2014 (Ed.2.0) +Amd1 : 2016
規格タイトル	ランプ制御装置—第 2-13 部：直流又は交流電源用 LED モジュール用制御装置の個別要求事項
適用範囲に含まれる主な電気用品名	直流電源装置 (LED 用電源装置)
廃止する基準 (発行年) 及び有効期間	J61347-2-13 (H29) / 有効期間 令和 7 年 8 月 30 日
雑音の強さ (当てはまらない選択肢を消去)	・規格適用なし ・表 2 を適用 ・この規格を適用

<審議中に問題となったこと>

前回 (JISC8147-2-13:2017) のこの規格の改正審議で問題となった主な事項は、次のとおりである。

- JIS C 8147-2-13:2014 は、CDV 段階の IEC 61347-2-13 (第 2 版) を先取りしていたが、発行された IEC 規格の要求事項とは異なる点がある。そのため、発行された規格に基づいた改正をすることとした。
- 箇条 15 の異常動作は非絶縁 (単巻) 制御装置には適用されない。そのため、非絶縁 (単巻) 制御装置にも適用される箇条 21 異常状態を新設してまとめた。この箇条は、JIS C 8147-2-13:2014 で削除された JIS C 8147-2-13:2008 での要求事項を基にした。
- 非常照明用電子制御装置は、我が国内では使用していないため、不採用とした。

今回の追補改正審議で問題となった主な事項は、次のとおりである。

- JISC8147-2-13:2017 は、箇条 2 (引用規格) で引用する JISC8147-1 は年度が指定されており、JIS C 8147-1:2017 を引用していた。また、最新版は JISC8147-1:2021 である。JIS C 8147-2-13:2017 では、最新版が引用されていないため、JIS C 8147-1 の年度を削除した。
- 最新版の対応国際規格 Amd 1 : 2016 に対応するため、箇条 7 (表示) で引用する JIS C 8147-1 の年度を削除しようとしたが、JISC8147-2-13:2017 では、箇条 2 (引用規格) で引用する JISC8147-1 の年度を指定していたことより、箇条 7 (表示) では JISC8147-1 の年度の指定をしていなかった。これより、箇条 7 (表示) は変更しなくてもよいことが確認された。

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

＜主な国際規格との差異の概要とその理由＞

現在の別表第十二に採用されている技術基準とは相違する主なデビエーション。

項目 番号	概 要	理 由
3	用語及び定義 絶縁制御装置及び複巻制御装置の定義を追加した。	分類に新たに絶縁制御装置及び複巻制御装置が追加されたため、それに関連する用語を定義した。
3	用語及び定義 附属書 J（規定）交流専用，交流／直流兼用又は直流専用非常照明用電子制御装置で使用していた用語を削除した。	引用している附属書 J（規定）交流専用，交流／直流兼用又は直流専用非常照明用電子制御装置の個別追加安全要求事項は、我が国では使用していないため、この規定は不採用とした。
4	一般要求事項 JIS C 8159-1 に規定するランプ安全規格の“直管 LED ランプ制御装置設計のための情報”を規定した。	JIS C 8159-1（IEC 62931 CDV 段階）に規定する LED ランプが適切に機能するために、JIS C 8159-1 の“直管 LED ランプ制御装置設計のための情報”を規定として追加した。
7	表示 調光器と組合せて調光制御を行う場合の調光器の型式等の表示を削除した。	旧版はデビエーションとして追加していたが、追加理由がちらつきに対するものであり安全要求ではないこと、また国際規格に整合させることから、削除とした。
15	変圧器の温度上昇 15.3 異常動作 定格負荷の2倍のLEDモジュール又は等価負荷を接続した試験を削除した。	箇条 15 の異常動作は非絶縁（単巻）制御装置には適用されない。そのため、非絶縁（単巻）制御装置にも適用される箇条 21 異常状態を新設してまとめた。
21A	異常状態 制御装置の異常状態で動作させた際の安全性を規定した。	箇条15の異常動作は非絶縁（単巻）制御装置には適用されない。そのため、非絶縁（単巻）制御装置にも適用される箇条21 異常状態を新設してまとめた。 追補 1 にて、箇条21から箇条21Aに変更した。
附属書 J	交流専用，交流／直流兼用又は直流専用非常照明用電子制御装置の個別追加安全要求事項 附属書全体を不採用とした。	この制御装置は、我が国では使われていないため、不採用とした。

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

<主な改正点>

<p>この規格の旧版は、対応国際規格 IEC 61347-2-13:2006, Lamp controlgear-Part 2-13: Particular requirements for d.c. or a.c. supplied electronic controlgear for LED modules:2006 (MOD) として制定されていたが、IEC 61347-2-13:2014 (第2版) を基とし、技術的内容及び構成を変更して作成した日本工業規格である。</p> <p>さらに、この追補1は、2016年に発行された IEC 61347-2-13 Amendment 1 を基に、JISC 8147-2-13:2017 の追補1として作成したものである。</p> <p>主な改正点は、次のとおりである。</p>				
JIS の箇条		技術的差異	主な内容	備考
2 (追補1)	引用規格	IEC と同じ	引用規格で、JIS C 8147-1:2017 を引用していたが、年度指定を削除し、JIS C 8147-1 に変更した。	IEC の追補1の変更に対応した。
3.	用語及び定義	IEC と同じ	分離制御装置を複巻制御装置に変更した。	JIS C 61558 シリーズで定義されてる用語に合わせた。
4	一般的要求事項	IEC と同じ	定電圧形又は定電流形ではない制御装置への要求事項を削除し、複巻制御装置及び絶縁制御装置への要求事項を追加した。	IEC 61347-2-13 第2版 (CDV 段階) を先取りしていたが、発行時に改正されており、その内容に対応した。
7.	表示	IEC と同じ	JIS C 8147-1の7.1 (表示する項目) t)及びu)の必須表示を追加した。	IEC で追加された規定に対応した。
15	変圧器の温度上昇	IEC とほぼ同じ	トランスを変圧器に用語を統一。無負荷及び負荷短絡試験及び定格負荷の2倍のLEDモジュール又は等価負荷を接続した試験を削除した。	箇条15の異常動作は非絶縁(単巻)制御装置には適用されない。そのため、非絶縁(単巻)制御装置にも適用される箇条21 異常状態を新設してまとめた。
21 (追補1)	最大動作電圧 (U _{out})	IEC と同じ	制御装置に表示する最大動作電圧 (U _{out}) の試験方法、適合性について追加した。	IEC の追補1で追加された規定を追加した。

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

21A	異常状態	IEC に追加	初版(2008年度版)にあり、次版である現在の版(2014年度版)で削除された異常状態を、この規格で追加した。	非絶縁（単巻）制御装置にも適用される箇条 21 異常状態を新設してまとめた。 追補 1 にて、箇条 21 から箇条 21A に変更した。
附属書 I	直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項	IEC と同じ	JIS C 8147-1の附属書 L で SELV 制御装置の個別要求事項が規定されたため、その規定を適用するように変更した。	IEC に合わせた。
—	—	IEC と同じ	以下の付属書を削除した。 附属書 JA（参考）耐インパルスカテゴリ III の制御装置の耐電圧試験電圧 附属書 JB（規定）二重絶縁又は強化絶縁のために使用される絶縁材料の要求事項	附属書を引用していた附属書 I での引用がなくなったため、不採用とした。

技術基準との整合確認書

<技術基準省令への整合性>

規格番号：JIS C 8147-2-13：2014（第2版）+追補1：2024 規格名：ランプ制御装置—第2-13部：直流又は交流電源用LEDモジュール用制御装置の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4	<p>4 一般的要求事項</p> <p>JIS C 8147-1（制御装置の通則）の箇条4（一般的要求事項）を引用し、以下を規定している。</p> <p>ランプ制御装置は、通常の使用状態で使用者及び周囲を危険にさらすことなく使用できるように、設計及び構成しなければならない。</p> <p>外郭をもたず、プリント基板及びその基板上の部品で構成する器具内用ランプ制御装置は、照明器具に組み込まれた場合に、JIS C 8105-1の要求事項に適合しなければならない。以下の関連規定がある。</p> <p>JIS C 8105-1 4.13（機械的強度）、4.14（つり具及び調節手段）、4.25（機械的危険箇所）</p> <p>独立形安定器については照明器具通則（JIS C 8105-1 12.4 温度試験）を適用する。</p>	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	■該当 □非該当	<p>箇条 9</p> <p>箇条 16</p>	<p>9 端子</p> <p>JIS C 8147-1（通則）の箇条8、最終的にはJIS C 8105の該当箇条及び関連JISによる。</p> <p>16 構造</p> <p>JIS C 8147-1の箇条15（構造）の要求事項を適用する</p>	

技術基準との整合確認書

				<p>箇条 18</p> <p>18 ねじ，通電部及び接続</p> <p>最終的に JIS C 8105-1、4.11（電氣的接続及び通電部）及び 4.12（ねじ，機械的接続及びグラント）の目視検査及び試験による。</p> <p>附属書 I</p> <p>本規格の附属書 I（直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項）</p> <p>JIS C 8147-1 の附属書 L の L.1 一般 この附属書は，照明器具用 SELV 入力として使用するランプ制御装置について規定することを引用している。</p> <p>附属書 JA</p> <p>本規格の附属書 JA（追加の安全性要求事項）で最終的に JIS C 8147-1 の附属書 JA（追加の安全性要求事項）による。</p>	
<p>第三条 第 1 項</p>	<p>安全機能を有する設計等</p>	<p>電気用品は，前条の原則を踏まえ，危険な状態の発生を防止するとともに，発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。</p>	<p>■該当 □非該当</p>	<p>箇条 14</p> <p>14 故障状態</p> <p>JIS C 8147-1 の箇条 14（故障状態）を引用し，以下を規定している。</p> <p>14.1 一般事項 箇条 10（充電部との偶発接触からの保護） 10.1 に規定する偶発接触に対して十分に保護しなければならない。</p> <p>14.2 沿面距離及び空間距離の短絡 充電部と可触金属部との間及び異なる回路間の沿面距離及び空間距離は，箇条 16（沿面距離及び空間距離）に規定する値未満であってはならない。</p> <p>箇条 15</p> <p>15 変圧器の温度上昇</p> <p>15.1 一般 SELV 制御装置の出力電圧は，この規格の</p>	

技術基準との整合確認書

				<p>箇条 21</p> <p>15.2（通常動作）及び15.3（異常動作）の試験の間、JIS C 8147-1 の10.4 に規定する限度値を超えてはならない。</p> <p>21 最大動作電圧（Uout）</p> <p>通常動作状態及び異常動作状態を含むあらゆる負荷状態において、出力端子の電圧は、制御装置に表示する最大動作電圧（Uout）を超えてはならない。</p> <p>箇条 21A</p> <p>21A 異常状態</p> <p>21A.1 一般 制御装置は、異常状態で動作した際に安全を損なってはならない。</p>	<p>箇条 21 は追補1で追加。</p> <p>箇条 21A は元箇条 21。</p>
<p>第三条</p> <p>第2項</p>	<p>安全機能を有する設計等</p>	<p>電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。</p>	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 7</p> <p>7 表示</p> <p>7.1 必須表示</p> <p>器具一体形制御装置以外の制御装置では、JIS C 8147-1 の7.2（表示の耐久性及び判読性）の要求事項に従って、該当する場合は次の必須表示項目を明瞭かつ容易に消えない方法で表示する。</p> <p>a) JIS C 8147-1 の7.1（表示する項目）の a), b), c), d), e), f), k), l), m), t)及びu)。</p> <p>b) 定電圧形の場合：定格出力電力及び定格出力電圧。</p> <p>c) 定電流形の場合：定格出力電力及び定格出力電流。</p> <p>d) 制御装置が LED モジュール専用である場合、その旨の記載。</p> <p>7.2 該当する場合に提供する情報</p> <p>7.1 に規定する必須表示項目のほかに、該当する場合には、次の情報を制御装置に表示するか、又は製造業</p>	

技術基準との整合確認書

					<p>者のカタログなどに記載する。</p> <p>a) JIS C 8147-1 の 7.1 の h), i), j) 及び s)。</p> <p>b) 制御装置が主電源に接続された変圧器の巻線をもつ場合、その旨の記載。</p>	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 11</p> <p>箇条 18</p> <p>箇条 20</p> <p>附属書 I</p>	<p>11 耐湿性及び絶縁性</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 11 (耐湿性及び絶縁性) を引用し、以下を要求している。次の箇所では、十分絶縁していなければならない。</p> <p>a) 充電部と、固定ねじ又は外部絶縁部と接触している金属はく (箔) を含む外部金属との間</p> <p>b) 充電部と該当する制御端子との間</p> <p>18 ねじ、通電部及び接続部</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 17 (ねじ、通電部及び接続部) を引用し、以下を要求している。</p> <p>故障によってランプ制御装置の安全性を損なうおそれがあるねじ、通電部及び機械的接続部は、通常の使用で起こる機械的ストレスに耐えなければならない。</p> <p>20 耐食性</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 19 (耐食性) を引用し、以下を要求している。</p> <p>腐食することによって、ランプ制御装置の安全性を損なうおそれのある鋼鉄製部品は、腐食に対して適切に保護していなければならない。</p> <p>附属書 I 直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項 (第 2 条第二項と同様)</p>	

技術基準との整合確認書

					JIS C 8147-1 の附属書 L の L.1 一般 この附属書は、照明器具用 SELV 入力として使用するランプ制御装置について規定することを引用している。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	■該当 □非該当	箇条 11 箇条 20	11 耐湿性及び絶縁性（第四条と同様） JIS C 8147-1 箇条 11（耐湿性及び絶縁性）を引用し、以下を要求している。次の箇所では、十分絶縁していなければならない。 a)充電部と、固定ねじ又は外部絶縁部と接触している金属はく（箔）を含む外部金属との間 b)充電部と該当する制御端子との間 20 耐食性（第四条と同様） JIS C 8147-1 箇条 19（耐食性）を引用し、以下を要求している。 腐食することによって、ランプ制御装置の安全性を損なうおそれのある鋼鉄製部品は、腐食に対して適切に保護していなければならない。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	■該当 □非該当	箇条 19	19 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性 JIS C 8147-1 箇条 18（耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性）を引用し、以下を要求している。 18.1 充電部を所定の位置に保持する絶縁部品及び感電保護用絶縁部品は、十分な耐熱性をもたなければならない。	
第七条第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 8	8 充電部との偶発接触からの保護 JIS C 8147-1 箇条 10（充電部との偶発接触からの保護）を引用し、以下を要求している。	

技術基準との整合確認書

		<p>一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。</p>		<p>10.1 感電に対する保護を照明器具の外郭に依存しないランプ制御装置は、通常の使用状態で設置したとき、充電部（附属書 A による。）との偶発接触に対して十分に保護しなければならない。</p> <p>10 接地</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 9（接地）を引用し、以下を要求している。</p> <p>9.1 保護接地 [IEC 60417 の記号 5019 (2006-08)] 接地用端子は、箇条 8（端子）の要求事項に適合しなければならない。</p> <p>11 耐湿性及び絶縁性（第四条と同様）</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 11（耐湿性及び絶縁性）を引用し、以下を要求している。次の箇所では、十分絶縁してなければならない。</p> <p>a) 充電部と、固定ねじ又は外部絶縁部と接触している金属はく（箔）を含む外部金属との間</p> <p>b) 充電部と該当する制御端子との間</p> <p>12 耐電圧</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 12（耐電圧）を引用し、以下を要求している。</p> <p>ランプ制御装置は、十分な耐電圧をもたなければならない。</p> <p>絶縁抵抗の測定の直後に、箇条 11（耐湿性及び絶縁性）に規定する部分に 1 分間の耐電圧試験を適用し、ランプ制御装置は、それに耐えなければならない。</p>	
--	--	---	--	--	--

技術基準との整合確認書

				<p>箇条 21</p> <p>箇条 21A</p> <p>附属書 I</p>	<p>い。</p> <p>21 最大動作電圧 (Uout) (第三条第一項と同様) 通常動作状態及び異常動作状態を含むあらゆる負荷状態において、出力端子の電圧は、制御装置に表示する最大動作電圧 (Uout) を超えてはならない。</p> <p>21A 異常状態 (第三条第一項と同様) 21A.1 一般 制御装置は、異常状態で動作した際に安全を損なってはならない。</p> <p>附属書 I 直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項 (第2条第二項と同様) JIS C 8147-1 の附属書 L の L.1 一般 この附属書は、照明器具用 SELV 入力として使用するランプ制御装置について規定することを引用している。</p>	<p>箇条 21 は追補 1 で追加。</p> <p>箇条 21A は元箇条 21。</p>
第七条 第2号	感電に対する 保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 8</p> <p>附属書 I</p>	<p>8 充電部との偶発接触からの保護 (第七条と同様) JIS C 8147-1 箇条 10 (充電部との偶発接触からの保護) を引用し、以下を要求している。</p> <p>10.1 感電に対する保護を照明器具の外郭に依存しないランプ制御装置は、通常の使用状態で設置したとき、充電部 (附属書 A による。) との偶発接触に対して十分に保護しなければならない。</p> <p>附属書 I 直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項 (第2条第二項と同様) JIS C 8147-1 の附属書 L の L.1 一般 この附属書は、照明器具用 SELV 入力として使用するランプ制御装置について規定することを引用している。</p>	<p>試験方法は、附属書 A による。</p>

技術基準との整合確認書

第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 9 箇条 11 箇条 12 箇条 16 箇条 17	9 端子（第二条と同様） JIS C 8147-1（通則）の箇条8、最終的にはJIS C 8105の該当箇条及び関連 JIS による。 11 耐湿性及び絶縁性（第四条と同様） JIS C 8147-1 箇条 11（耐湿性及び絶縁性）を引用し、以下を要求している。 次の箇所では、十分絶縁していなければならない。 a)充電部と、固定ねじ又は外部絶縁部と接触している金属はく（箔）を含む外部金属との間 b)充電部と該当する制御端子との間 12 耐電圧（第七条1号と同様） JIS C 8147-1 箇条 12（耐電圧）を引用し、以下を要求している。 ランプ制御装置は、十分な耐電圧をもたなければならない。 絶縁抵抗の測定の直後に、箇条 11（耐湿性及び絶縁性）に規定する部分に1分間の耐電圧試験を適用し、ランプ制御装置は、それに耐えなければならない。 16 構造（第2条第2項と同様） JIS C 8147-1 の箇条 15 （構造）の要求事項を適用するほか、次によるとして関連規格も引用している。 17 沿面距離及び空間距離 箇条 14（故障状態）で特に規定しない限り、JIS C 8147-1 の箇条 16（沿面距離及び空間距離）の 16.1 一
-----	---------	---	--	--	---

技術基準との整合確認書

				附属書 I	<p>般 この箇条は、ランプ制御装置の沿面距離(16.2)、及び空間距離(16.3)に対する要求事項について規定する。</p> <p>附属書 I 直流又は交流電源用 SELV 制御装置の個別要求事項（第2条第二項と同様）</p> <p>JIS C 8147-1 の附属書 L の L.1 一般 この附属書は、照明器具用 SELV 入力として使用するランプ制御装置について規定することを引用している。</p>	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>箇条 14</p> <p>箇条 15</p> <p>箇条 19</p>	<p>14 故障状態（第三条第一項と同様）</p> <p>JIS C 8147-1 の箇条 14（故障状態）を引用し、以下を規定している。</p> <p>14.1 一般事項 10.1 に規定する偶発接触に対して十分に保護しなければならない。</p> <p>14.2 沿面距離及び空間距離の短絡 充電部と可触金属部との間及び異なる回路間の沿面距離及び空間距離は、箇条 16（沿面距離及び空間距離）に規定する値未満であってはならない。</p> <p>15 変圧器の温度上昇（第三条第一項と同様）</p> <p>15.1 一般 SELV 制御装置の出力電圧は、この規格の 15.2（通常動作）及び 15.3（異常動作）の試験の間、JIS C 8147-1 の 10.4 に規定する限度値を超えてはならない。</p> <p>19 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性（第六条と同様）</p> <p>JIS C 8147-1 箇条 18 を引用し、以下を要求している。</p>	

技術基準との整合確認書

				<p>簡条 21A</p> <p>18.1 充電部を所定の位置に保持する絶縁部品及び感電保護用絶縁部品は、十分な耐熱性をもたなければならない。</p> <p>21A 異常状態（第三条第一項と同様）</p> <p>21A.1 一般 制御装置は、異常状態で動作した際に安全を損なってはならない。</p>	<p>簡条 21Aは元簡条 21。（追補 1）</p>
第十条	火傷の防止	<p>電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。</p>	<p>■該当</p> <p>□非該当</p>	<p>簡条 4</p> <p>4 一般的要求事項（第二条第一項と同様）</p> <p>JIS C 8147-1（制御装置の通則）の簡条 4（一般的要求事項）を引用し、以下を規定している。</p> <p>ランプ制御装置は、通常の使用状態で使用者及び周囲を危険にさらすことなく使用できるように、設計及び構成しなければならない。</p> <p>外郭をもたず、プリント基板及びその基板上の部品で構成する器具内用ランプ制御装置は、照明器具に組み込まれた場合に、JIS C 8105-1 の要求事項に適合しなければならない。以下の関連規定がある。</p> <p>JIS C 8105-1 4.13（機械的強度）、4.14（つり具及び調節手段）、4.25（機械的危険箇所）</p> <p>独立形安定器については照明器具通則（JIS C 8105-1 12.4 温度試験）を適用する。</p> <p>簡条 15</p> <p>15 変圧器の温度上昇（第三条第一項と同様）</p> <p>15.1 一般 SELV 制御装置の出力電圧は、この規格の 15.2（通常動作）及び 15.3（異常動作）の試験の間、JIS C 8147-1 の 10.4 に規定する限度値を超えてはならない。</p>	

技術基準との整合確認書

				附属書 C	附属書 C（規定）過熱保護手段付き電子ランプ制御装置の個別要求事項 JIS C 8147-1 の附属書 C（過熱保護手段付きランプ制御装置の個別要求事項）を引用している。	
第十一条 第 1 項	機械的危険源 による危害の 防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4	4 一般的要求事項（第二条第一項と同様） JIS C 8147-1（制御装置の通則）の箇条 4（一般的要求事項）を引用し、以下を規定している。 ランプ制御装置は、通常の使用状態で使用者及び周囲を危険にさらすことなく使用できるように、設計及び構成しなければならない。 外郭をもたず、プリント基板及びその基板上の部品で構成する器具内用ランプ制御装置は、照明器具に組み込まれた場合に、JIS C 8105-1 の要求事項に適合しなければならない。以下の関連規定がある。 JIS C 8105-14.13（機械的強度）、4.14（つり具及び調節手段）、4.25（機械的危険箇所）	独立形安定器については照明器具通則（JIS C 8105-1）を適用。
第十一条 第 2 項	機械的危険源 による危害の 防止	電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 16 箇条 18 附属書 JA	16 構造（第 2 条第 2 項と同様） JIS C 8147-1 の箇条 15（構造）の要求事項を適用するほか、次によるとして関連規格も引用している。 18 ねじ、通電部及び接続部（第四条と同様） JIS C 8147-1 箇条 17（ねじ、通電部及び接続部）を引用し、以下を要求している。故障によってランプ制御装置の安全性を損なうおそれがあるねじ、通電部及び機械的接続部は、通常の使用で起こる機械的ストレスに耐えなければならない。	

技術基準との整合確認書

[illegible]

技術基準との整合確認書

第1項	及び停止による危害の防止	し、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■非該当			当するおそれがない。
第十五条第2項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	制御装置は、該当するおそれがない。
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	制御装置は、該当するおそれがない。
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	■該当 □非該当	<div>箇条 14</div> <div>箇条 15</div> <div>箇条 21</div>	<div>14 故障状態（第三条第一項と同様） JIS C 8147-1 の箇条 14（故障状態）を引用し、以下を規定している。 14.1 一般事項 10.1 に規定する偶発接触に対して十分に保護しなければならない。 14.2 沿面距離及び空間距離の短絡 充電部と可触金属部との間及び異なる回路間の沿面距離及び空間距離は、箇条 16（沿面距離及び空間距離）に規定する値未満であってはならない。 15 変圧器の温度上昇（第三条第一項と同様） 15.1 一般 SELV 制御装置の出力電圧は、この規格の 15.2（通常動作）及び 15.3（異常動作）の試験の間、JIS C 8147-1 の 10.4 に規定する限度値を超えてはならない。 21 最大動作電圧（U_{out}）（第三条第一項と同様） 通常動作状態及び異常動作状態を含むあらゆる負荷状態において、出力端子の電圧は、制御装置に表示す</div>	<div>箇条 21 は追補 1 で追加。</div>

技術基準との整合確認書

				箇条 21A	<p>る最大動作電圧 (Uout) を超えてはならない。</p> <p>21A 異常状態 (第三条第一項と同様)</p> <p>21A.1 一般 制御装置は、異常状態で動作した際に安全を損なってはならない。</p>	箇条 21Aは元箇条 21。
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 16 箇条 17	<p>16 構造 (第2条第2項と同様)</p> <p>JISC 8147-1 の箇条 15 (構造) の要求事項を適用するほか、次によるとして関連規格も引用している。</p> <p>17 沿面距離及び空間距離 (第八条と同様)</p> <p>箇条 14 (故障状態) で特に規定しない限り、JIS C 8147-1 の箇条 16 (沿面距離及び空間距離) の 16.1 一般 この箇条は、ランプ制御装置の沿面距離(16.2), 及び空間距離(16.3)に対する要求事項について規定する。</p>	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55015 の別規格で規定されている。
第十九条	表示等 (一般)	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意 (家庭用品品質表示法 (昭和三十七年法律第百四号) によるものを除く。) を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7	<p>7 表示 (第三条第2項と同様)</p> <p>7.1 必須表示</p> <p>器具一体形制御装置以外の制御装置では、JIS C 8147-1 の 7.2 (表示の耐久性及び判読性) の要求事項に従って、該当する場合は次の必須表示項目を明瞭かつ容易に消えない方法で表示する。</p> <p>a) JIS C 8147-1 の 7.1 (表示する項目) の a), b), c), d), e), f), k), l), m), t) 及び u)。</p> <p>b) 定電圧形の場合：定格出力電力及び定格出力電圧。</p>	

技術基準との整合確認書

					<p>c) 定電流形の場合：定格出力電力及び定格出力電流。</p> <p>d) 制御装置が LED モジュール専用である場合、その旨の記載。</p> <p>7.2 該当する場合に提供する情報</p> <p>7.1 に規定する必須表示項目のほか、該当する場合には、次の情報を制御装置に表示するか、又は製造業者のカタログなどに記載する。</p> <p>a) JISC 8147-1 の 7.1 の h), i), j) 及び s)。</p> <p>b) 制御装置が主電源に接続された変圧器の巻線をもつ場合、その旨の記載。</p>	
第二十条 第 1 号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。</p> <p>一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。）</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<p>□該当</p> <p>■非該当</p>	—	—	各号に掲げる製品でないため、該当する製品ではない。
第二十条	表示（長期使	二 電気冷房機（産業用のものを除く。） 機器本体の	□該当	—	—	各号に掲げる製

技術基準との整合確認書

第2号	用製品安全表示制度による表示)	見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	■非該当			品でないため、該当する製品ではない。
第二十条 第3号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示)	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	□該当 ■非該当	—	—	各号に掲げる製品でないため、該当する製品ではない。
第二十条 第4号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示)	四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	□該当 ■非該当	—	—	各号に掲げる製品でないため、該当する製品ではない。